

富士市立中央病院 病院だより

第 5 号

発行:平成21年7月20日

〒417-8567 富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital

電子カルテ&DPCを導入しました。

富士市立中央病院では、5月7日より電子カルテシステムを本格的に稼働させました。これにより以下の点が更に充実します。

①医療サービスの向上(医師、看護師、薬剤師などのスタッフが同じ情報を即座に共有できるため、患者さまの状態に即した対応及び服薬指導などを行うことができます。)②安全な医療の提供(処方する薬剤の量及び回数などのチェック機能があります。)③わかりやすい医療情報の提供(検査結果などが短時間

でグラフ化できるため、今まで以上に理解しやすい説明ができます。)

また、7月1日より、入院医療費を包括評価による診断群別定額払いにするDPC方式を導入しました。この制度導入により入院医療費の計算方法が変更となります。詳細につきましては、

特集「DPCについて」(4ページ)をお読み下さい。電子カルテの導入当初は、皆さまにご迷惑をおかけしましたが、今後も地域の基幹病院としてよりよい医療を提供できるよう努力してまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



【院内での動きを示す「基本スケジュール」が印刷されます。】



【原則番号でお呼びすることになりました。】

富士市立中央病院の理念

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をやすく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。

富士市立中央病院職員宣言

1. 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
2. 私たちは、知れた個人のプライバシーは、必ず保護します。
3. 私たちは、検査・治療・予後などについて、わかりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
4. 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
5. 私たちは、市立病院としての自覚のもと絶えず自己研鑽し、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
6. 私たちは、医療機関相互の連携に心して、地域の医療体制への貢献に努めます。

各科紹介

産婦人科

現在、産婦人科は4名の常勤と2名の非常勤医師で診療にあたっています。

診療内容は、①周産期医療、②婦人科良性腫瘍（子宮筋腫・卵巣腫瘍・子宮内膜症・性器脱など）の開腹・腔式手術・腹腔鏡下手術、③婦人科悪性腫瘍（子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌など）の治療（手術・化学療法・放射線治療など）、④不妊・生殖医療（一般不妊治療から体外受精胚移植・顕微授精・受精卵の凍結保存）、など多岐にわたっています。

当院は地域周産期母子医療センターであり、本来ハイリスク分娩を主に診療すべきなのですが、昨今の産婦人科勤務医不足・分娩取扱い施設の減少に伴い、岳南地区の出産を守る事が最優先課題と考え現在分娩制限はしておりません。また、当院では対応できない様な高度な医療を要する場合は、静岡県立こども病院・順天堂静岡病院などの総合周産期母子医療センターに受け入れをお願いする

事もあります。

本年4月より診療スタッフは大幅に刷新されました。新規スタッフ共々、今後も日々研鑽に励み、岳南地区の医療に貢献できるように努めていく所存です。



「ありがとうメッセージ」をいただきました。



全国的に医師不足が騒がれている中、富士市立中央病院でも昨年、産婦人科存続の危機に直面しました。

この問題を機に富士市や富士宮市の母親ら有志の方々が集まり「産婦人科を守る会」が結成され、同会が実施した署名活動では、科の存続を願う13万を超す署名が集まりました。

その後、当院に浜松医科大学より医師派遣が決まり、産婦人科閉鎖の危機から脱することができました。

「産婦人科を守る会」の方々は、活動を通して医療の

現状を知り、先生や助産師さん、看護師さんに対する感謝の心で医療を支えていくことが必要という思いを持たれました。

そして、今年2月「ありがとうメッセージ」活動が始められました。

このメッセージは、富士市・富士宮市の病院や開業医で出産した方を対象に募集されたもので、多くのメッセージが寄せられました。

そして、4月21日当院にて「ありがとうメッセージ」贈呈式が行われました。

メッセージには無事出産できたことへの感謝の気持ちなどが綴られ、赤ちゃんが元気に育っていることが分かる写真なども添えられていました。

山田治男院長からは、「産婦人科を存続・拡充できたのは、市民の皆さまのおかげです」と感謝の言葉が伝えられました。



富士市立中央病院診療日程表

2009年7月1日現在

診療科《部長名》		月	火	水	木	金	備 考
内科 (代謝一般内科)《藤井常宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (消化器内科) (腎臓内科)《笠井健司》	初診	田中	町田	山城	宮下	池田	市田医師の診察は、第1と第3週の午後のみです。 平野医師の診察は、第2と第4と第5週の午後のみです。
		藤井	宮下	山田	藤井	谷口	
		谷口		谷口	谷口	山城	
		木村	木村	木村	木村		
			馬場	(市田・平野)			
神経内科《森田昌代》		森田		森田	森田	森田	《初診は完全紹介状制です。火曜日は休診日です。》
循環器科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	小菅			阪本	吉野 武本	金曜日の武本医師の診察は、奇数週です。 金曜日の吉野医師の診察は、偶数週です。
		阪本	三川	三川	三川	三川	
		井上		田中		浦部 阪本	
小児科《瀬川孝昭》		瀬川	瀬川	千葉	秋山	千葉	火曜日の日馬医師の診察は午前10時30分からです。 木曜日の本木医師の診察は午前10時30分からです。
		秋山	日馬	瀬川	本木	瀬川	
		斉藤	斉藤	秋山	斉藤	秋山	
外科《梶本徹也》		梶本	吉田	梶本	吉田	良元	
		大町	良元	大町	藤田	毛利	
		小山	藤田	毛利	小山	(交替制)	
整形外科《田邊登崇》		田邊	永井	(交替制)	永井	田邊	《初診は完全紹介状制です。水曜日は初診のみ。》 《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
		荒川	久富	(交替制)	久富	荒川	
脳神経外科《諸岡 暁》		野田	諸岡	(交替制)	野田	諸岡	《水曜日は初診のみです。》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみ。
			秋山		尾崎		
形成外科《平川正彦》		平川		牧野	平川	牧野	《火曜日は休診日です。水曜日は初診のみです。》 《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
泌尿器科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産婦人科《窪田尚弘》	初診	窪田	平井	鈴木	原	山崎	←婦人科再診 ←妊婦健診
		平井	原	山崎	窪田	鈴木	
		原	山崎	窪田	鈴木	平井	
眼科《讓原大輔》		讓原	讓原	讓原	讓原	讓原	水曜日の讓原医師の診察は、偶数週です。
		藤谷	藤谷	藤谷		藤谷	
耳鼻咽喉科《高柳博久》		須田	高柳	須田	高柳	(交替制)	金曜日は手術日です。 金曜日は初診のみです。
		遠藤	(交替制)	(交替制)	遠藤		
皮膚科《津嶋友央》		津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週です。 水曜日の青島医師の診察は、偶数週です。
		青島	青島	青島	青島	青島	
麻酔科《堀口 徹》							
放射線科		(担当医)		(担当医)		(担当医)	←治療外来 ←診断外来
		大平	大平	(交替制)	萬	成田	
		東條	東條	東條	東條	東條	
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山	勝山	勝山	勝山	勝山	片桐医師の診察は、火曜日は第2、第4週、木曜日は第1、第3週です。
		井出	井出	井出	井出	井出	
		勝田	勝田	勝田	勝田	勝田	
			(片桐)		(片桐)		

※7月1日付、医師の異動がありました。詳細につきましては5ページのお知らせをご覧ください。
※都合により、内容が変更になることがあります。

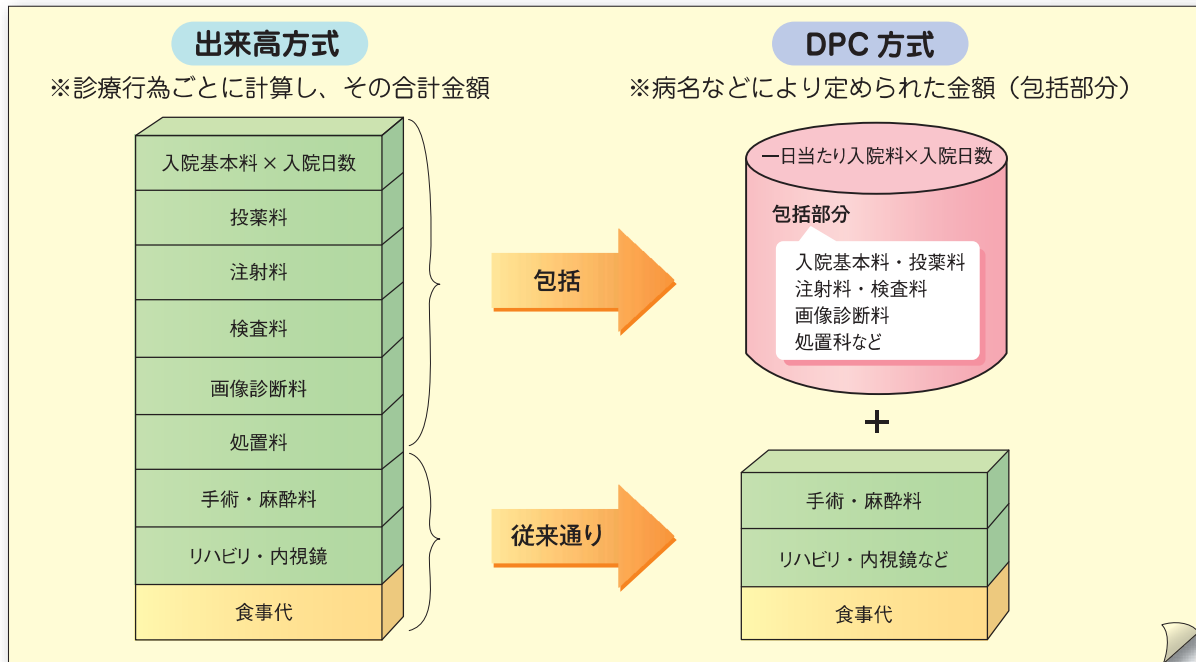
特集「DPCについて」

当院では、平成21年7月1日より、「DPC対象病院」となりました。「DPC」とは「Diagnosis Procedure Combination」の略で、日本語では診断群分類包括評価と言います。この制度は国が推進している制度で、導入により入院医療費の計算方法が変更されます。

入院患者さまの医療費は、従来は検査、注射、投薬など実施された診療行為ごとに計算される「出来高支払い」方式でした。一方DPC方式では、厚生労働省によ

て疾病や症状ごとに一日当たりの医療費が決められており（診断群分類点数表）、それに基づき医療費が計算される「包括支払い」方式となります。

なお手術、リハビリ、一部の処置・検査、食事代などは、この「包括支払い」部分に含まれませんので、従来どおり「出来高支払い方式」により計算されます。包括支払い部分と出来高支払い部分の合計が入院料となります。



DPCについてのQ&A

Q すべての入院患者がDPCの対象になりますか？

A DPCの制度に該当する疾患であると主治医が判断した場合に対象となります。この制度の対象外の病気である場合やお産、労災保険、交通事故、自由診療などの場合は対象外で、従来どおりの出来高払い方式での計算となります。

また、DPC対象の病名には病名ごとに入院日数が定められており、この日数を超過してしまう場合もそれ以降は出来高払いの計算となります。

Q 複数の病気を治療した時はどうなりますか？

A DPCでは、患者さまの入院期間を通して「最も医療資源を投入した病名」により1日あたりの医療費を決定します。よって、複数の病気を治療したり、転科したりした場合でも、その中から主治医が病名を1つ選んで決定することとなります。

Q 高額医療の取り扱いはどうなりますか？

A 高額療養費制度の取り扱いは従来と変わりません。申請等につきましては、加入されている健康保険証を発行している機関へご相談ください。

また、「限度額認定証」をお持ちの方は、1階医事課にご提示ください。

Q 病院での医療費の精算は変わりますか？

A DPC方式では、疾病や症状ごとに一日当たりの医療費が決められています。そのため、入院当初に決定された病名が変更された場合、会計は入院開始日まで遡って計算されます。当院では入院会計を月末と退院時に請求することになっております。

入院が長期になり複数月にわたる場合は、翌月や退院時に会計の過不足を調整いたしますので、あらかじめご了承ください。



おしらせ



言語聴覚士が採用されました!!

●リハビリテーション科 内線2911

今年の4月より待望の言語聴覚士が1名採用されました。当院では主に脳血管障害・事故等による頭部外傷を原因とした失語症・構音障害といった言語障害や高次脳機能障害、飲み込みの障害(嚥下障害)がある方を対象に言語聴覚士が1対1でリハビリを行っております。

言語聴覚士は“ことば”や“きこえ”に問題がありコミュニケーションをとる事にお困りの方や、食べたり・飲んだりする事にお困りの方に対して、評価・訓練・指導を行う専門職です。通称ST(Speech Therapist)ともいわれています。

言語聴覚士は国家資格として認定されてから12年程しか経っていない新しい職種です。10年前には全国に養成校が約10校でしたが、徐々に注目されるようになり現在では約60校に増えました。静岡県には養成校が1校あります。県内の約100施設で250人ほどの言語聴覚士が働いております。

しかし高齢化社会の影響もあり患者さまからの需要はあるものの、徐々に言語聴覚士の数が増えてきているとはいえ供給がまだ追いついていない状況です。



ウェブサイトを更新しました

●病院経営課 内線2240

6月8日より富士市立中央病院ウェブサイトを更新しました。アクセス数の多いページを見やすい場所へ配置するなど、当院ウェブサイトを訪れた方が、効率よく情報を収集できるよう配慮しました。今後も、よりよい情報を提供できるウェブサイトを作って行きたいと思っておりますので、ぜひともご覧ください。

なお、トップページへのバナー広告(インターネット広告)を随時募集しております。詳細事項につきましては下記URLを参照してください。

●ウェブサイトURL

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/>

●バナー広告URL

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/ct/other000013400/byoin_hp.pdf



クレジットカードでの支払いができるようになりました

●医事課 内線2103

入院・外来診療費等のお支払いにクレジットカードがご利用いただけるようになりました。クレジットカードのご利用により、現金の持ち合わせがなくても安心して受診ができます。ぜひ、ご利用ください。

1. ご利用可能なクレジットカード



MasterCard



VISA



AEON(イオン)



UFJ



NICOS



DC

2. 取扱場所 及び 取扱時間

1階 会計窓口前自動支払機	平日(8:30~18:00) ※入院費の取扱いは、3台のうち1台のみです。
---------------	--

※救急外来受診時にもクレジットカードでの精算ができます。

※自動支払機でお取扱ができない場合もあります。お手数ですが、医事課窓口にて手続きをお願いします。

※ご利用の際には、暗証番号が必要です。また、お持ちのカードのご利用限度額をご確認ください。



医師の人事異動について

●病院総務課 内線2215

下記診療科において医師の異動がありました。これまで担任医師が主治医として担当させていただいた患者さまには、大変ご迷惑をおかけいたします。

わからないことがありましたら、お問い合わせください。

診療科	就任(7月1日)	退任(6月30日)	診療科	就任(7月1日)	退任(6月30日)
循環器内科	浦部 晶博	鮫岡 大輔	整形外科		石塚 怜王
小児科	齊藤 千徳	日暮 憲道	泌尿器科	田代 康次朗	稲葉 裕之
外科	根木 快	恩田 真二	産婦人科	原 信	
	内田 由寛	友利 賢太			



～こんな相談を受付しています～

お薬相談

- お薬の効能や副作用などについて ●お薬の飲み方や吸入薬、うがい薬などの使い方について
- 他院や他科でもらったお薬との飲み合わせについて
- 健康食品について(お薬と一緒に飲んでもいいかなど)

女性特有の症状に対するお薬については、女性薬剤師が対応しております。お気軽にお声をお掛けください。その他、お薬について何でも相談してください。

●利用時間 8:30～17:00 (土日・祝日は除く)

【お問い合わせ】 薬剤科 内線2126

その他の病院内の相談は…



●栄養相談 ※予約制です。

月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)

お問い合わせ: 栄養科 内線2146

●検査に関する相談・血糖自己測定器の説明

月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)

お問い合わせ: 臨床検査科 内線2267

●糖尿病相談 生活指導・自己管理

第2火曜 13:00～15:00 看護面談室(1階)

お問い合わせ: 内科外来 内線2285

各種教室のご紹介

患者さまとご家族を対象とした各種教室を開催しています。どなたでも無料で参加できますので、開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせのうえ、お気軽に参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

●糖尿病教室 お問い合わせ: 栄養科 内線2146

日時: 毎月第2火曜日 18:30～20:00

●腎臓病教室 お問い合わせ: 栄養科 内線2146

日時: 毎月第3火曜日 15:00～16:00

●ファミリークラス

お問い合わせ: 産婦人科外来 内線2337

日時: 毎月3回 13:00～15:00

総合相談センター

《受付時間および相談時間》

月曜日～金曜日 8:30～16:30

場所: 1階正面玄関入って、すぐ右手です。

●医療福祉相談 地域連携室(健診含む) 内線2918

●看護相談 総合相談センター (がん相談含む) 内線2046

●よろず相談 総合相談センター 内線2046

●医療安全相談 総合相談センター 内線2046

富士市立中央病院

～平成21年度病院指針～

「電子カルテから始まるチーム医療“患者さんもチームの一員”」

〒417-8567

住所: 静岡県富士市高島町50

電話: 0545-52-1131 FAX: 0545-51-7077

E-mail: byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

【アクセス】

富士ICより 車で10分

東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分

東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

